

宇佐市民図書館だより

みんと

第201号

2015年11月1日発行

宇佐市民図書館 本館

〒879-0453 大分県宇佐市大字上田 1017-1

TEL.0978-33-4600 / FAX.0978-33-4679

<http://www.usa-public-library.jp/>

安心院分館

TEL.0978-44-1111(支所) / FAX. 9078-44-2181

院内分館

TEL.0978-42-5111(支所) / FAX.0978-42-5115

合併10周年記念シリーズ⑦ (H19・3)
両院地域に「ほんの夢号」巡回開始



- 秋の「読書週間」行事
 - 第17回・横光利一俳句大会記念写真
 - 特集・第17回・横光利一俳句大会講評より
 - 本大会選者・野中亮介氏(俳人)
 - 「科学の世界へようこそ」展・感想集2
 - 南一郎平三大疎水報告展・感想集
- 4・5
7 6 3 2

よむそう

漱石、魯迅、一郎平

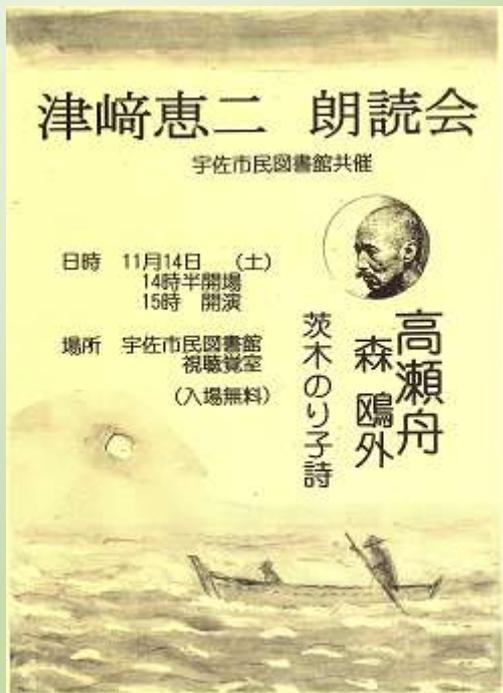
森鷗外と夏目漱石の二人が住んだ家が明治村博物館(愛知県犬山市)に移築保存されている。元あった場所は東京文京区千駄木。鷗外は『舞姫』を書いた明治23年(1890)からこの家に住み、漱石は明治36年(1903)から住みはじめた。『吾輩は猫である』がここで書かれたので「猫の家」と呼ばれることもある▼それから3年後の明治39年(1906)、漱石は2件目の借家へ転居し、『虞美人草』などを書いたが、9カ月後には出ていってしまう。風呂がないこと、度重なる家賃の値上げが原因といわれている。その半年後、漱石の愛読者だった中国人留学生がこの家を借り受けた。のちの魯迅であった▼漱石と魯迅が住んだ同じ場所に、かつて南一郎平も住んでいたことを最近知った。広瀬水路を完成させた郷土の偉人・南一郎平が松方正義の招きで単身上京したのが明治8年(1875)のこと。最初は今の新橋あたりの植木屋に寄宿したらしいが、明治23年(1890)頃には文京区に住んでいた▼この年、藍綬褒章を受けた記念に書かれたと思しき「履歴」の冒頭に、「宿所本郷区駒込西片町十番地」とあり、現在の文京区西片町1丁目12番地にあたる。ここが漱石と魯迅が住んだ家のあった住所。一郎平が住んだのは二人が住む十数年も前のことである。

いつだって、読書日和 宇佐市民図書館

「いつだって、読書日和」は今年の読書週間の標語(読書推進運動協議会)です。

津崎恵二さんによる 森鷗外朗読会

11/14(土) 15:00~



毎年恒例の津崎恵二さん(元俳優・94歳)の朗読会です。今年は森鷗外の『高瀬舟』ほかを朗読します。おたのしみに！

秋の読書週間の ブックリサイクル 実施期間 10/27~11/8



今年も、秋の読書週間の期間にあわせブックリサイクルを実施します。保存切れになった雑誌や、みなさんから寄贈された書籍をさしあげます。掘り出し物があるかも？



文化の日・特別上映会 上方落語名人選 三代目・桂 米朝

「軒づけ」・「植木屋娘」

11月3日(火) 文化の日 14:00~14:54

宇佐市民図書館では、祝祭日の開館日には映画・アニメ作品でない映像資料を上映しています。11月3日(火)文化の日は、人間国宝、先代の桂米朝師匠による落語をお楽しみください！

11月もスペースだよ！

木々が色を変えつつあります。絵本展示架は「秋の本」です。芸術の秋、スポーツの秋、様々な空気があります。

特集展示は「ベストリーダー10」。本館、分館、移動図書館のランキングデータを展示しています。ホームページからも見る事が出来ます。

おてがみ ありがとう

本、とてもおもしろいです！毎日読んでます！これからもがんばって下さい



最近、新しい本が届きつつありますが、いかがでしょうか？あなたが好きな本をお知らせしてくださいね。

第17回・横光利一俳句大会表彰式



「中学生以下の部」入賞者のみなさん



「一般の部」入賞者のみなさん

第17回横光利一俳句大会の表彰式は十月二十四日(土)に図書館視聴覚ホールで開催され、入賞者67名を含む150人で賑わった。今年には国内外の2606人から6311句に及ぶ応募があった。選者は昨年引き続き浅井慎平氏(写真家・俳人)、野中亮介氏(俳人)に加え、ギャリー・G・マイヤー氏が英語による作品に与えられる「HANAMIZUKI賞」を審査。一般の部・特選「横光利一俳句賞」には一般の部「かりがねの一気の下る月の道」赤堀ふみさん(静岡県掛川市)、中学生以下の部「自転車のサドルを五センチ上げた夏」森本秀明君(宇佐市駅館小4年)が選ばれた。作品集はA4判、12ページ。非売品。図書館HPではPDF版で紹介している。



郷土スペース通信199
『第17回横光利一俳句大会入賞作品集』
 (宇佐市民図書館・2015・10)

第17回 横光利一俳句大会 選評より

「自然」と「心」が寄り添う句

本大会選者・野中亮介氏（俳人）

本日も出席の方の句を中心にとりあげたいと思います。

覆るや転校生の頃の空

特選・大分県知事賞、藤崎由希子さん（福岡県宗像市）の句。はじめとか仲間外れというようなことは昔からあったんでしようけれども、最近特にシビアになってきている。

「転校生」には「入学生」とか「新入生」という言葉とはちがう、どことなく寂しい響きがあります。作者はその寂しさに耐えたんだと思います。黄砂が街を覆って曖昧模糊とした風景に、悩み苦しんでいた中学、高校時代の自分の思いを重ねたのだと思います。春になったときに、いつも転校生であった時の自分の姿を思い浮かべたのではないかと思いましたが。この方は、空を見て自分の寂しさを慰めてきた過去というか、履歴があつたのではないかなと思います。自然と自分の心が寄り添った、いい句だと思いました。

行き先は告げずに来たり久女の息

特選・宇佐市長賞、延寿寺富美さん（福岡県北九州市）の句。ご存知

のように、杉田久女は俳句のためなら手弁当でどこへでもいくという性格の人でした。洋行する高浜虚子を慕って追いかけていったエピソードが有名ですが、そのとき横光利一は虚子と同じ船に乗っていたのです。ですから久女と横光利一というのは不思議な感じがするのですが、実際会ってもしるんですね。この句の作者の円城寺さんがそのことを「存じだつたのかはわかりませんが、「行き先を告げずに来たり」ということが久女の内容自体をよく支えている句と思います。

音ひとつなき大空や敗戦忌

特選・宇佐市議会議長賞、安倍日出さん（宇佐市）の句。「敗戦忌」、「終戦日」と、いろいろこだわる方もいらつしやいます。今回、音と戦争を結びつける句が多かつたのも印象的でした。たとえば、中学生以下の部では特選・平和のともしび賞「原爆の音で消えたよせみの声」（佐藤大輝さん・安心院小6年）や秀作「静かな爆弾の音もきこえない」（石川大地さん・安心院中1年）などです。バーンという爆弾の音、ダダダッという機銃掃射の音、その音が、恐ろしいものとして戦争の一場面にとらえられているところが共通してい

ます。

安倍さんの句の場合はB29の音もしないし、爆弾の音もしない。そこにはだた、澄み渡った空だけがある。「ああ、敗れたんだ、終わったんだ」という気持ちで「敗戦」という言葉に託してうまく描けていると思いました。深い句でした。

戦争に千の証言時鳥

特選・宇佐市教育長賞、中尾豊子さん（大分市）の句。戦争というのは、まだ本当に論証されておられません。いろいろな意見があつて、学者の間でも喧々諤々やているようなことで、千人いれば、千人の戦争証言がある。

たとえば、ご主人を亡くされた方もいらつしやるでしょう。また、ちつちやい頃、疎開先でいじめられた方もおられるでしょう。おいしくなかつた芋ばかり食べさせられたという方もいるかもしれない。その色々な証言すべてが正解だと、私は思います。どの証言も嘘ではない。そのことをこの句は正直に出していると思います。

特にこの句が優れているのは、季語に「時鳥（ほととぎす）」を置いたことですね。「鳴いて血を吐くほとと



野中亮介氏

「ぎす」といわれるように非常に鋭い声で鳴きます。これがカッコウとかツツドリではなく、ホトトギスを置いたところにご自身を絞り出したような戦争証言となつています。「俳句は季語がすべて」という人がいますが、まさに季語は恐るべきものだと思います。

秀作の「うつむくも仰ぐも祈り敗戦忌」(清瀬わか子さん・宇佐市)は特選にしようか迷った句です。うつむいていても仰いでいても、その姿がすべて敗戦を物語っている。言外に非常に深い世界を描き出している。うづくまって泣く者も、天を仰いで慟哭する者もすべてみなこれ敗戦であるのとらえた深い句であると思えました。

余生とは言はぬ漢の祭足袋

特選・浅井慎平先生の選者賞、安部紀久子さん(豊後高田市)の句。
この男性はどういう人だろうか。私は、あまり元氣じゃない男の人を想像しました。元氣だと「余生とは言はぬ」があまり響いてこない気がするからです。ご病気をされたとか、お一人になられたとか、どこかマイナスの面があつて、しかし「余生」とは言わないんだ、「現役なんだ」というところで響いてきますね。

「漢」という字を使ったところや「祭足袋」に注目したところも手柄だと感じました。

これと似たような句で、秀作「止まり木は男の孤島祭笠」(上島幸重さん・別府市)。しゃれた句です。止まり木というのはバーかどこかでしょね。それを「男の孤島」と詠んだところが手柄だなあと思いました。

秀作「信念を貫く男梅真白」(野中安子さん・大分市)。「梅真白」が「信念を貫いている男」の潔さ、清潔さ、潔癖さ、そういうものをすべてうまく出しているんじゃないかなと思えました。

自転車サドルを五センチ上げた夏

中学生以下の部・横光利一俳句賞、森本秀明さん(駅館小4年)の句。

子どもさんの句は実感でとらえた句が多いですね。「五センチ」と具体的な数字で表したところなど子どもながらなかなかだなと思えます。大人顔負けの句で、大人の句の中に混ぜても負けない句です。

面一本とられて終わる僕の夏

特選・宇佐市長賞、岩武陸さん(北部中3年)の句なども「チクシヨウ！」と思えますね。つまり、それほどうまいということです。実感か、俳句の調べに素直に出ています。

お子さんたちがこういう素晴らしい句を作るといふことは、学校の先生方のご指導とか、親御さんが温かく成長を見守っていることのあかしと思えます。特に中学3年生はは来年高考になりますから、高校に入れば一般の部で大人の人と一緒に勝負できます。堂々と頑張っていただけなら、と思えます。

日やけた顔が男のくんじょうだ

特選・大分県北部振興局長賞、矢頭正之さん(上毛町唐原小3年)。

この句の作者は、思いがけずかわいいうややでした。ますますいい勲章をもらえるようにしてくださいね。

ほかに好きだったのは特選・浅井慎平先生の選者賞「夏休みおれと竹刀と友情と」(渡邊臣人さん・西部中1年)などは、ちよつと高倉健の世界のような感じですね。

それから素直だったなと惹かれたのは特選・野中亮介選者賞「かくれんぼ寝莫蓆にもぐる通知表」(古門美羽さん・北部中1年)。

「今年は頑張ったんあだけどなあ…」というところでもあったのかな。「お母さんにみせなきゃいけないけど…どうしよう」というのでつい寝莫蓆にこそつともぐりこんでしまったのだと思います。実感の伴った素晴らしい句だと思います。

* * *

この大会が、宇佐、大分、九州、日本と広がっていつて、宇佐には「横光利一俳句大会」があるよ、といわれるように、今日はまた、高松からもおいでいただきましたけれども、他県からたくさんの方がおいでくださるようになりますことをお祈りいたします。選評とさせていただきます。ありがとうございます。

二〇一五年一〇月二四日
宇佐市民図書館・視聴覚ホールで

「科学の世界へようこそ」展 感想集2

7月28日(火)～8月30日(日) ※この展示は終了しました。

◇1階玄関の藍染の作品に目がうばわれて、2階を見せていただきました。改めて宇佐市にこのような素晴らしい作品を創作している方がおられることに驚いています。藍染の魅力を知るきっかけをいただき感謝しています。(中津市・40代の女性)

◇私は全部の作品が好きだけど、私が一番好きなのは芳賀信幸さんの「深き海より」です。この作品は光を思ったまんまに表現していて、波が立っているところや、波が立っていないところを、色を濃くしたり、薄くしたりして、みんなが分かりやすく、きれいな色使いをしていました。(宇佐市・小6女子)

◇いろいろな物が見られてよかったです。特に「陸を選んだ動物たちや恐竜や古代生物たちがよかったです。恐竜がかっこよかったです。今まで知らなかった宇宙のことが知れたのでよかったです。今日はここに来て良かったなと思います。また来てみたいと思います。(宇佐市・女子中学生)

◇どうやって魚をつかまえるのかわかりました。夏に宇佐でとれる魚もわかった。(宇佐市・女子中学生)

知ると楽しい図書館のミカタ

『新編 国歌大観』

72

『国歌大観』は、万葉集・二十一代集・新葉集・日記・物語歌集などを収めた検索のための索引です。索引部は句別索引で、古歌の一句からその全体・作者・出典を探すことが出来ます。和歌には通し番号が付けられ、その番号を「国歌大観番号」と呼ばれるほど研究者には必須のツールです。DVDにもなりましたが、宇佐市民図書館は開館当初に購入した書籍版を参考図書コーナーに置いています。名月に月の句を探したくなったら、思い出してください。

ヤングコーナーレビュー131

◆◆新着本から◆◆

『10代の心かたちをこころとまなこ』

著者 香山リカ

発行所 岩波書店

どうすれば親や友達とうまくつきあっていけるんだろう？ 将来どんな進路に進もうかな？ 自分に自信が持てない・・・中学生や高校生のだれもが直面する心の悩みや疑問に答え、解決するための考え方をアドバイスします。精神科医カヤマさんの10代のための生き方案内(本書より)

『未来を拓くおたけだり』

著者 田坂広志

発行所 くもん出版

いま、我々は、子供たちにいかなる生き方を語るべきか。あるいはいかなる思いを伝えるべきなのか。また、未来の世代に、いかなる歩みを残すべきなのか。志を抱いて生きることの大切さを、すべての子供たちに、すべての学生に、またすべての若者たちに、心を込めて贈る著者渾身のメッセージ。

図書館日誌 9月20日～10月19日

- 9/22 中世文書を読む会
- 9/26 続・横光利一を読む会

図書館ボランティア 9月20日～10月19日

- 図書整理ボランティア (各週木曜)
- 9/30 「もういいかい」おはなし会
 - 10/1 「おはなしだいすき」おはなし会
 - 10/8 「おはなしあのねのね」おはなし会

11月のミニ展示

東側(一番奥の0の棚)から順番に照会しています

【窓側】

- ・心理ゲーム
- ・パンがないならケキを食べればいいじゃない
- ・ヨーロッパに思いを馳せて
- ・先人に学ぶ
- ・あるある?ないい?
- ・税のはなし
- ・知っていれば・・・後悔しないために
- ・心臓の病気
- ・あっ、顔文字じゃないんだ
- ・古事記
- ・元気をもらう
- ・イタリア文学
- ・折原 一
- ・藤田 宜永
- ・あなた

【通路側】

- ・読み方を読む
- ・ほとけさま
- ・あさが来たの時代!!
- ・温泉でリラックス
- ・刑法
- ・介護を考える
- ・手づくりブライダルのおすすめ
- ・伝統の世界
- ・釣り
- ・めくるめく 川柳の世界へ
- ・秋の夜に長編を
- ・メディア化作品
- ・涙活
- ・作家と暮らし
- ・愛

南一郎平

日本三大疎水をめぐるツアー

報告写真展 感想集

(9/8～10/4) ※この展示は終了しました。

宇佐平野の穀倉地が用水により形成されたことは現在の人にあまり知られていない。南一郎平親子が完成させた疎水により金屋から長洲、佐々礼の田畑及び干拓が開かれたことを広報する良い展示である。

(宇佐市・70代以上の男性Y・Yさん)

「三大疎水のノボリ」を見るたびに關心をもっていました。このたび、この展示会をみて三大疎水のことをよく理解できて大変喜んでます。こんな催し物を度々して下さることを願っています。

(宇佐市の女性・Hさん、Tさん、Dさん)

宇佐市に本気で仕事をした人物がいたことに情熱や思いを感じ、私も田舎に住んでいても今の置かれた環境がどうであれ、何かを発信する人になりたいと思いました。

(豊後高田市・30代の女性)

郷土に南一郎平様が生まれ、大事業をなされたことを初めて知りました。

(宇佐市・70代の男性M・Tさん)

【11月】

「いつだって読書日和」

【一般】

本館 10月の特集展示(過去分)

「特集 戦後70年」

「浄土真宗と四日市別院」

「ノーベル賞受賞者」

「お米とよく合う料理」

11月のヤング特集

「ニューフェイス」

11月の安心院分館ミニ展示

「食欲の秋」

11月の院内分館ミニ展示

「目覚めよ! 芸術家」



ありがとうございました。

【ご寄贈(10月分・敬称略)】

歴史研究会・北 斗七星・森永澤

子・今永 修



11月の宇佐市民図書館 本館

1	日	映画「男はつらいよ 奮闘篇」(日本) 14:00~15:32 絵便り教室 13:30~16:00
2	月	休館日
3	火	休日開館日 落語「三代目 桂米朝」上巻 14:00~14:54
4	水	ほんの森号 ①封戸小 ②和間小 ③長洲公民館
5	木	館内見学(四日市・長洲幼 8名) 10:40~12:00 ほんの森号 ①西馬城小 ②高家小 ③貴船団地
6	金	ほんの森号 ①長峰小 ②天津小 ③小峰団地 ほんの夢号 ①南院内小 上院内分校 ②院内中部小
7	土	アニメ「きかんしゃトーマス 新TVシリーズ」1 14:00~14:33 ザ・キャビンカンパニーと楽しもう! 14:00~16:00
8	日	「うさ教育・家庭・読書の日」推進大会 宇佐市読書感想文・感想画コンクール等表彰式 10:30~12:00
9	月	休館日
10	火	館内見学(横山・長峰小 35名) 13:30~15:30 近世文書を読む会 14:00~15:30 ほんの森号 ②長洲小 ほんの夢号 ①佐田小 ②津房小
11	水	ほんの森号 ①北馬城小 ②宇佐小 ③渚団地 県立
12	木	おはなし会「おはなしあのね」 ほんの森号 ①糸口小 ②豊川小 ③四日市コミュ
13	金	ほんの森号 ①横山小 ②八幡小 ほんの夢号 ①福貴野分校 ②深見小
14	土	おはなし会「図書館職員」 11:00~11:30 アニメ「まんが日本昔ばなし」23 14:00~14:30 森鷗外朗読会(津崎恵二氏) 15:00~17:00
15	日	映画「男たちの大和」(日本) 14:00~16:25 絵便り教室 13:30~16:00
16	月	休館日
17	火	中世文書を読む会 14:00~15:30 ほんの夢号 ①安心院小 ②院内北部小
18	水	館内見学(宇佐小2年 26名) 10:00~12:00 おはなし会「もういいかい」 県立 ほんの森号 ①封戸小 ②和間小 ③長洲公
19	木	休館日(月末図書整理日)
20	金	ほんの森号 ①長峰小 ②天津小 ③小峰団地 ほんの夢号 ①南院内小 上院内分校 ②院内中部小
21	土	アニメ「うっかりペネロペ おもしろいこと大好き」 14:00~14:30
22	日	NHK健康映像「メタボと生活習慣病(動脈硬化)」 14:00~14:58
23	月	休日開館日 漫才の殿堂「西川きよし・横山やすし」 14:00~15:00
24	火	振替休館日
25	水	振替休館日
26	木	ほんの森号 ①西馬城小 ②高家小 ③貴船団地
27	金	ほんの森号 ①横山小 ②八幡小 ほんの夢号 ①福貴野分校 ②深見小
28	土	アニメ「世界名作アニメ6 美女と野獣」 14:00~14:50 続・横光利一を読む会 14:00~16:00 図書館友の会リハーサル 16:00~18:00
29	日	映画「アルフィー(1966)」(アメリカ:字幕) 14:00~15:54
30	月	休館日

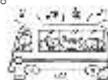
※行事内容は、他の事情により変更となることもあります。

ほんの森号の時間帯

①10:20~11:00 ②13:00~13:40 ③15:20~16:00

ほんの夢号の時間帯

①10:20~11:00 11:20~11:40(上院内分校) ②13:00~13:40



おはなし会

12日(木) おはなしあのね 14日(土) 図書館職員

18日(水) もういいかい

11:00~11:30 おはなしのへや

渡網記念ギャラリー展示

○「ザ・キャビンカンパニー絵本原画展」
11月7日(土)~11月29日(日)

エントランス展示

- 宇佐市美術協会会員作品展(2点)
11月1日(日)~11月29日(日)
- 第17回横光利一俳句大会優秀作品展
10月24日(土)~11月29日(日)
- 読書週間:ブックリサイクル
10月27日(火)~11月8日(日)
- 第12回宇佐市読書感想画コンクール
優秀作品展
10月30日(金)~12月6日(日)
- 「家庭の日」ポスターコンクール入賞作品展
10月30日(金)~12月6日(日)

講座案内

(参加は自由です。無料。2階・研修室)

古文書を読む会

★近世文書 11月10日(火)

資料:「橋津文書」

★中世文書 11月17日(火)

資料:「大友文書」

※いずれも 14:00~15:30

続・横光利一を読む会

■上■映■会■

上映は14:00からです。

1階・視聴覚ホールでビデオやDVDなどを
使って上映しています(無料)

◆子ども向け(アニメ)

7日(土)「きかんしゃトーマス
新TVシリーズ」1 33分

14日(土)「まんが日本昔ばなし」23 30分

狐森、乞食のくれた手ぬぐい、

蟬八長者、千亀姫

21日(土)「うっかりペネロペ

面白いこと大好き編」30分

28日(土)「世界名作アニメ6

美女と野獣」50分

◆一般向け(映画)

1日(日)「男はつらいよ 奮闘篇」

(日本) 90分 1971年

出演:渥美清、倍賞千恵子など

3日(月)落語「三代目 桂米朝」上巻

54分 『軒づけ』『植木屋娘』

15日(日)「男たちの大和」

(日本) 145分 2005年

出演:反町隆史、中村獅童など

22日(日)NHK健康映像

「メタボと生活習慣病(動脈硬化)」

58分 2013年7月放送

23日(月)漫才「西川きよし 横山やすし」

29日(日)「アルフィー(1966)」

(アメリカ:字幕) 1965年

主演:マイケル・ケインなど